

## 2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ Sherry 英語教室 ] 担当教諭名 [ 塩飽 隆子 ] ( 中学2-3年・高校1年 5名 )


相手国・地域 [ カザフスタン ]

海外学校名 [ School-gymnasium No. 10 ] 担当教諭名 [ Galina Melnikova ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	英語	世界の課題を考えよう	20
	課外活動	理想の世界を表現しよう	8

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	The World where people respect equality and diversity
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	We would like to live in a society with high moral principal, where people are equal with mutual respect, where each member is confident in their future and where there is hope and dream. Let's create such a world!
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・COVID-19 という全世界が直面する課題について、医療、教育、自然環境、グローバル化の観点から調べ、問題を客観的に捉え、自分に何ができるのかを考えることができました。</li> <li>・相手の意見から、カザフスタンの人々の倫理観や価値観と日本人の倫理観・価値観が違うことを知り、何が大切かを考えることができました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと相手と意見交換をしたかったが、カザフスタン側はずっとオンライン授業が続き、主要科目以外の学習に時間の制限があったため、こちらからの問いかけになかなか返事がもらえず、議論が十分できなかったことは残念だった。しかし、困難な状況の中でも最後までパートナーとして学習を全うしようと努力してくれたことに感謝している。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カザフスタンの生徒たちの考え方が社会主義的で個よりも全体を重んじる意見に最初は驚きながらも否定的に捉えるのではなく、民主主義で自己中心になるのも良くないと客観的に捉え、大切なことはいろいろな考え方を知って自分がどう考えるかだと思えるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の倫理観・価値観に触れて、改めて日本のこれからのことについて考える機会となった。</li> <li>・ずっとオンラインで授業しているカザフスタンを見て、日本の ICT 教育の遅れを痛感した。日頃から自分で課題を見つけ、調べ、人に伝え、学びを深めるために ICT 教育を進めるべきだと思った。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	自己紹介のパワーポイントを作成。自己紹介には、コロナについて自分が思っていることや感染予防のために実践していることも含めた。	どうい相手なのか期待を膨らませながら自己紹介を作成していた。相手の自己紹介を読んで、知らないことが多く、緊張していた。	英語
共有 テーマ学習	8月 ～ 10月	COVID-19について医療、教育、自然環境、グローバル化の観点から日本の状況を調べ、自分の考えをまとめてパワーポイントを作成した。相手のプレゼンを読んで意見を返した。	課題について客観的な視点で資料を集め、自分の考えを論理的に説明することに苦労していたが、パワポが完成した時には達成感を感じていた。相手がコロナ禍でも道徳や倫理、家族や社会を重んじていることに感心していた。もっと意見交換をしたかったが、相手がリモートのため十分に議論できなかったことを残念がっていた。	英語
融合 メッセージ作成	11月	自分たちと価値観が大きく違う相手の想いを汲み取りながら、自分たちの想いとどう合わせるか考えてメッセージを作成した。	相手の考え方を理解して尊重しようとする様子が見られた。自分たちの考えはしっかり伝えることができた。	英語
創造 壁画制作	11月	表したいメッセージがはっきりしているので、壁画のデザインも制作も順調に進んだ。	デザインを考える時に日本案とカザフスタン案をうまく合わせることができたので壁画制作も楽しくできた。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	3月	完成壁画がまだ届いていないので写真で作品鑑賞を行った。学習全体を振り返って自己評価をした。	壁画が届くのを楽しみにしている。相手はコロナ禍の中、最後まで活動を続けてくれたことに感謝している。	英語

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	3	テーマが COVID-19 だったので、お互いの文化を調べて発信することはなかったため、あまりカザフスタンの文化について理解が深まったとは言えない。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	カザフスタンはソ連から独立して社会主義体制から民主主義体制へ移行したが、相手の生徒たちの考えに全体主義の色が濃いことに驚いていた。しかし、それを否定するのではなく、行き過ぎた民主主義もどうかという意見が出るなど、批判的に自分たちのことを見ていた。
主体的に考え行動する力	4	COVID-19 について各自が関心のある観点で調べることからスタートしたので、その後の学習も壁画制作も積極的に行って相手をリードしていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	相手がオンライン授業のため活動に制限があり、十分にアートマイルの時間確保ができなかったため、テーマについて議論を深めるところまでいかなかった。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	メッセージ作成では双方の想いをうまく合わせることができた。壁画制作では自分たちの想いを十分に表現できたように思う。